

**漢方薬局 旺樹の杜 芍薬甘草湯**

芍薬甘草湯は、「傷寒論」を原典とする、急激に起こる筋肉のけいれんと痛みに用いられる漢方薬です。

**してはいけないこと**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

## 1. 次の人は服用しないでください

(1) 生後3ヶ月未満の乳児。

(2) 次の診断を受けた人。

心臓病

## 2. 症状があるときのみの服用にとどめ、連用しないでください

**相談すること**

## 1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください

(1) 医師の治療を受けている人。 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。 (3) 高齢者。

(4) 次の症状のある人。むくみ (5) 次の診断を受けた人。高血圧、腎臓病

## 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
うつ血性心不全、心室頻拍	全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

## 3. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

**効能・効果**

体力に関わらず使用でき、筋肉の急激なけいれんを伴う痛みのあるものの次の諸症：こむらがえり、筋肉のけいれん、腹痛、腰痛

**成分と分量**

1包（大人1日量）中に次の成分を含んでいます。

成 分	シャクヤク	カンゾウ
分 量	4.0g	4.0g

**用法・用量**

本品1包に、水約500mLを加えて、半量ぐらいまで煎じつめ、煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用してください。

上記は大人の1日量です。

年 齢	大人(15才以上)	14才～7才	6才～4才	3才～2才	2才未満	3ヶ月未満
服用量	上記の通り	大人の2/3	大人の1/2	大人の1/3	大人の1/4以下	服用しないこと
1日服用回数	3回					

**<用法・用量に関する注意>**

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。
- (4) 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこしてください。
- (5) 本剤は必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないでください。

**保管及び取扱い上の注意**

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わります。）。
- (4) 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用してください。
- (5) 生薬を原料として製造していますので、製品の色や味等に多少の差異を生じことがあります。

**その他**

医薬品副作用被害救済制度に関するお問い合わせ先

(独) 医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html> 電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)